12月議会

市政報告

第444回　市議会定例会　12月5日

危機管理

防災BOOK

9月25日に職員の災害対応力向上を目的とした防災研修を行いました。昨年度に引き続き、東日本大震災を経験された仙台市職員などの自主的研究グループ「Team Sendai」による実体験中心の話を聞き、自治体職員としての心構えや事前の対策について、改めて学ぶ機会となりました。

10月26日に内閣府との共催による地震・津波避難訓練を行いました。各地区でのシェイクアウト訓練や避難訓練の後、日章福祉交流センターで、約130名の参加により、避難所開設や応急手当、炊き出し、ペット避難への対応などの訓練を行いました。昨年度導入した浄水機能付き温水シャワーの組み立てや停電時の給電システムの使用、スターリンク衛星の受信機の設置など、実践的な訓練を行うことができました。

財政

TAX

本年度決算見込みは、社会保障費関係経費や人件費の増加、物価上昇の影響などより、大幅な基金の取り崩しが予想される状況です。

来年度の財政収支の見込みは、国の仮試算では、地方交付税に地方税などを加えた一般財源総額は確保され、前年度比で給与関係経費は3.8%、一般行政経費のうち単独事業は1.2%、公債費は0.7%の増とされています。一方で、近年、人事院勧告に準じた給与改定による年度途中での人件費などの増額が必要であることや、都市再生整備事業などの大型事業実施に伴う借入れの元金償還が始まったことによる公債費の増加により、楽観視はできない状況です。歳出は、高齢化に伴う扶助費や子育て関連経費などの義務的経費が増加しており、財政構造の硬直化が進んでいます。

企画

マイナンバーカード（個人番号カード）は、カード本体や電子証明書の更新手続きの増加が見込まれますので、11月に専用ブースの増設を行いました。

民生

国民健康保険

10月31日に知事に対し、「地方単独事業の医療費助成による国民健康保険の国費減額調整分に係る県・市町村の負担割合の見直しに関する要望書」を県内市町村長一同で提出しました。地方単独事業の医療費助成は、医療費の波及増分について国費が減額調整されていますが、要望書では、現状、減額分が全額市町村の負担で補填されていることを踏まえ、他県同様、国民健康保険の財政運営の責任主体である県にも直ちに負担を求めています。

高齢者関係

地域密着型サービスは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の第9期介護保険事業計画期間中における整備が見込めなくなったため、第10期計画期間に持ち越すこととなりました。

介護人材の育成のため、10月8日に「くらしのサポーター養成研修」を行いました。修了者は市の指定する訪問介護事業所で家事援助などに従事できるようになります。

環境

11月20日に第61回高知県市町村行政連絡協議会が本市で開催されました。モバイルバッテリー回収に係る各市町村の現状など、環境行政に係る議題について県の助言や市町村間での意見交換が行われました。

飼い主のいない猫不妊手術推進事業は、本年度より県補助の対象となり、11月1日現在で65匹分の申請を受け付けていますが、さらに申請が増加する見込みです。

商工観光

連続テレビ小説「あんぱん」放送終了直後の10月の連休に合わせ、物部川エリアでの観光博覧会の一環として「ものべすと　映画まつり」を香美市、南国市、香南市の順で開催しました。みあーれでの映画アンパンマン作品上映の際には、想定を超える来場者数を受けて客席を大幅に追加しました。

11月16日に南国市観光大使の委嘱式を行い、本県在住の映画監督である安藤桃子さんが就任されました。これまでも大篠小学校の児童との映画制作や日章福祉交流センターでの映画祭りなど、本市の教育や文化、地域活動に大きく貢献されており、今後の活躍が期待されます。

建設

市道の新設、改良事業は、社会資本整備総合交付金事業を活用して整備を進めています。市道稲吉篠原線の第1工区はみあーれと大篠小学校の区間の整備を行っており、第2工区は一部の整備と用地交渉を順次進めています。このほか、奈路地区の市道南国210号線の法面対策工事をはじめ、2路線について整備などを発注し、工事を進めています。

農林水産

国営ほ場整備事業は、工事済みの下島工区と能間工区で、整備後の土地の場所や面積を定めた換地計画が権利者会議で議決されました。換地計画の公告・縦覧期間後の処分公告による所有者の確定と、登記や換地清算金の手続きを経て、両工区は事業完了となります。今後は、現在工事中の浜改田西部工区と堀ノ内工区の早期完了を目指すとともに、その他の工区も、早期の工事着手に向けて取り組みます。

都市整備

都市計画

JR後免駅周辺の整備は、駅前広場の整備や駅前緩衝緑地公園などの再整備に向け、それぞれ実施設計を継続して進めています。後免駅北駐輪場の再整備は、本工事に着手しました。市道後免1号線（やなせたかしロード）の高質空間整備事業は、引き続き実施設計を進めます。

住宅

市営住宅の多くが築30年を超えて、ブロック塀の老朽化が目立っており、災害時の倒壊防止のため、撤去工事を行いました。

住宅の耐震化は、昨年度に引き続き、自主防災会に委託して戸別訪問による普及啓発を行っています。住宅耐震化の必要性や支援制度について、地域の防災会員が説明することにより、住宅所有者への動機付けにつながることが期待されます。

上下水道

上水

基幹管路の地震対策として稲生水源地から南部配水池までの送水管の耐震化工事を行っています。下水道の新川雨水枝線工事と後免町商店街の汚水管渠工事に伴う配水管布設替えは、下水道工事と連携して進めています。

下水

未普及対策として後免町商店街の汚水管渠整備工事を行っています。浸水対策として整備中の新川雨水枝線工事は、上水道工事と連携して進めています。

福祉

9月末における本市の被保護人員は696世帯880人で、昨年同時期と比較して6世帯増、4人減であり、保護率は19・3パーミルでほぼ横ばいです。

物価高騰対策として、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などを対象とした［令和6年度南国市電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援追加給付金］を、本年度に繰り越して行いました。7月31日で申請を締め切り、有効な申請に対して給付を全て完了しました。給付の総数は592世帯です。

消防

本年1月から10月末までの出動状況は、火災出動は昨年より6件減の15件、救急出動は106件増の2764件です。救助出動は5件増の24件で、このうち高知東部自動車道での救助出動事案は5件増の6件です。

予防業務は、9月から11月に市内各事業所に消防設備の立入検査を行い、違反者には是正を指示しました。また、11月9日から15日までの全国秋季火災予防週間中には、消防団、女性防火クラブ連合会や民間事業所と連携し、火災予防の広報を行いました。

防災施設は、災害時などにおける水利不足解消のため、市役所東駐車場に本市初めての設置となる、貯水量100トンの耐震性貯水槽を整備しました。

消防団は、10月19日に香南市消防団機動重機部隊と合同で重機取扱訓練を行い、操作技能の向上を図っています。

教育

学校教育

高知県教育の日の関連事業として、10月17日から12月12日までの期間を「南国市学びの期間」と位置付け、授業実践や学校行事など、市内の小中学校がそれぞれに特色のあるイベントを公開しました。保護者や地域の方も参加する取組として、学校の活動を発信しました。

姉妹都市・岩沼市との交流は、11月5日から3日間、岩沼市から児童生徒8名を含む16名が来高され、稲生小学校と香南中学校を訪問し、交流を深めました。

施設整備は、日章小学校、岡豊小学校の受水槽更新工事と後免野田小学校のトイレ洋式化工事が完了しました。

生涯学習

文化関係は、戦後80年という節目を迎え、10月25日から11月3日まで、みあーれで戦争企画展「ヒト・モノが語る戦争」を開催しました。本市所蔵品のほか、公募による遺品・物品や、高校生の作成した掩体の模型を展示するとともに、10月26日には戦後80年特別講演を行い、多くの方が来場されました。

▲詳細はこちらから